

—子どもたちの絆のために—  
**「陸前高田七夕まつり体験学習」実施報告**



当社は8月6日（月）から2泊3日の日程で、出店エリアの子どもたちが岩手県・陸前高田の七夕まつりに参加して、現地の子どもたちと交流する「陸前高田七夕まつり体験学習」を実施しました。

陸前高田で数百年の歴史を誇る「うごく七夕」と「けんか七夕」は毎年8月7日、子どもたちをはじめ老若男女が一つになって楽しむ夏祭りで、お囃子の太鼓や笛は親から子へ、子から孫へ受け継がれる伝統行事であり、山車に乗る大人たちの勇姿は子どもたちの憧れであり夢でもあります。しかし陸前高田の中心街は東日本大震災の津波によりそのすべてを失い、祭りの山車も多くが流失しました。

当社は、この七夕まつりを復活させて故郷への想いや子どもたちの夢を明日へとつなぐために、昨年11月、復興支援カレンダー「明日暦」によるチャリティー活動を実施し、今年2月、山車製作費用として「復興 陸前高田 うごく七夕まつり実行委員会」と「気仙町けんか七夕祭り保存連合会」それぞれに14,443,888円ずつ、総額28,887,776円を贈呈しました。

今回の体験学習は、当社出店エリアの子どもたちが被災地の今を自分の目で見て感じ、現地の高校の先生から津波や地震について学ぶとともに、七夕まつりに参加して現地の子どもたちと交流し、絆を深めることで、人と人とのつながりの大切さを五感で感じてもらうものです。

参加した子どもたちは陸前高田の町を自分の目で見るとともに、現地の高校の先生から津波の体験談を聞いて、津波の驚異や爪あとの深さを感じていました。また、伝統の七夕まつりに参加して現地の皆さんと一緒に山車をひき、復興にかける現地の皆さんの想いや、まつりを通じた人と人とのつながりや絆を感じていました。

## 《陸前高田七夕まつり体験学習の概要》

- ◆期 間 2012年8月6日(月)～8日(水) 2泊3日  
 ◆参加人数 小学4年生～6年生 33名  
 2012年度新入社員 63名  
 従業員ボランティア・他 29名 総勢125名  
 ※体験学習では新入社員が子どもたちのお世話をしました。
- ◆参加費 無料

### ◆内容

1日目 (8/6)	陸前高田うごく七夕まつり・山車見学
	地震と津波の勉強会
2日目 (8/7)	高田町「うごく七夕まつり」、気仙町「けんか七夕祭り」参加
3日目 (8/8)	世界遺産・平泉「中尊寺」見学



岩手県立高田高等学校・伊勢勤子先生を講師に「地震と津波の勉強会」を実施。東日本大震災の体験談などを聞きました。  
 (8/6(月) ホテル基石にて)



「うごく七夕まつり」に参加。地元の皆さんと一緒に山車をひきました。  
 (8/7(火))



「うごく七夕まつり」の山車をひきました。  
 (8/7(火))



「けんか七夕祭り」に参加しました。  
 (8/7(火))